

助成活動実績報告書

企画名	地域を活かす農業と食の安全
団体名	おかやまエコマインドネットワーク
<p>①活動の目的について</p> <p>その土地や気候、土壌に適応したものを作ることや食することが自然の理にかなうことを知り、生産者を身近に感じ、生産者の価値感に共感することで交流が生まれ、地元愛や地産地消につながることを期待する。安全な食は大地に戻り、次の生産につながることを知り、食の安全について考えるきっかけにする。</p> <p>また、世界的には遺伝子組み換え技術の発達に伴う食糧生産における利益と副作用についての議論があることからアメリカのドキュメンタリー映画「パパ、遺伝子組み換えってなあに？」の上映を行い、幅広い知識を得る。</p> <p>②内容について</p> <p>1 「パパ、遺伝子組み換えってなあに？」の上映、日時 2016年6月12日(日)10時～、14時～ 場所 岡山シティミュージアム 参加者数 110人 上映後、生産者と販売者2人の講師によるアフタートーク、参加者との交流をした。</p> <p>2 「地域を活かす農業と食の安全」in 吉備公民館、日時 2016年10月8日(土)10時～12時半 参加者数 69人、農業生産法人ワッカファーム代表・佐々木竜也氏(農薬や化学肥料、除草剤を一切使わずに完全露地栽培で野菜やハーブを作っている)、エコ技術研究会 山崎泰二氏(生ゴミたい肥箱を開発した)。講師二人の講演、JA岡山吉備支所女性部の活動報告、「福ちゃんの里ラーメン」のごぼうラーメンの話聞いた後、佐々木さんの野菜とごぼうラーメンの試食。</p> <p>3 「地域を活かす農業と食の安全」in 東山公民館、日時 2017年1月28日(土)10時～12時半 参加者数 65人、農業生産法人ワッカファーム代表 佐々木竜也氏 エコ技術研究会 山崎泰二氏 講師二人の講演、地域で野菜を作っている方、岡山市が企画した桃太郎コンポストを実践している方、フェアトレードの会の方の話聞いた後、佐々木さんの野菜、地域の方の野菜を使ったカレーの試食 また、岡山フェアトレードの会により、子ども対象にフェアトレードの話とフェアトレードのチョコレートとバナナを使ったチョコバナナ作りをした。</p> <p>4 フェアトレード関連企画 日時 2017年1月21日(土)14時～16時、場所 吉備公民館 参加者数 30人 岡山フェアトレードの会の方に来てもらって地域の子どもや老人会向けに、フェアトレードの話とフェアトレードのチョコレートとバナナを使ったチョコバナナ作りをした。</p>	

③この活動によって達成された成果

食の安全、循環型社会、それにこれからの農業の一つの姿を理解し、誰にでもできる小規模野菜栽培を通じて食生活を安心して豊かなものにするという企画の目的に関心がある人が多くいることが分かった。

また、普段あまり目にする事のない「遺伝子組み換え作物」や「種子の寡占」などにも興味を持てたと思う。中学校区という顔見知りが出会いやすい範囲で自家菜園をしている人や農業を目指している人が作物の安全や食についての理解を深めて地域で協働する相談が始まるなど、それぞれの取り組みに自信を持つことができた。

④今後の計画・展望について

同様な企画を岡山市以外の市町村でも展開していきたい。また、食品への関心が高いことから「食品ロス」についての映画会やパネルディスカッション、ワークショップなどの実施を検討したい。

⑤写真等参考資料添付



映画鑑賞の後の交流



山崎さんの講演



佐々木さんの講演



地域の方のお話



フェアトレードのお話



佐々木さんの野菜とフェアトレードのチョコバナナ